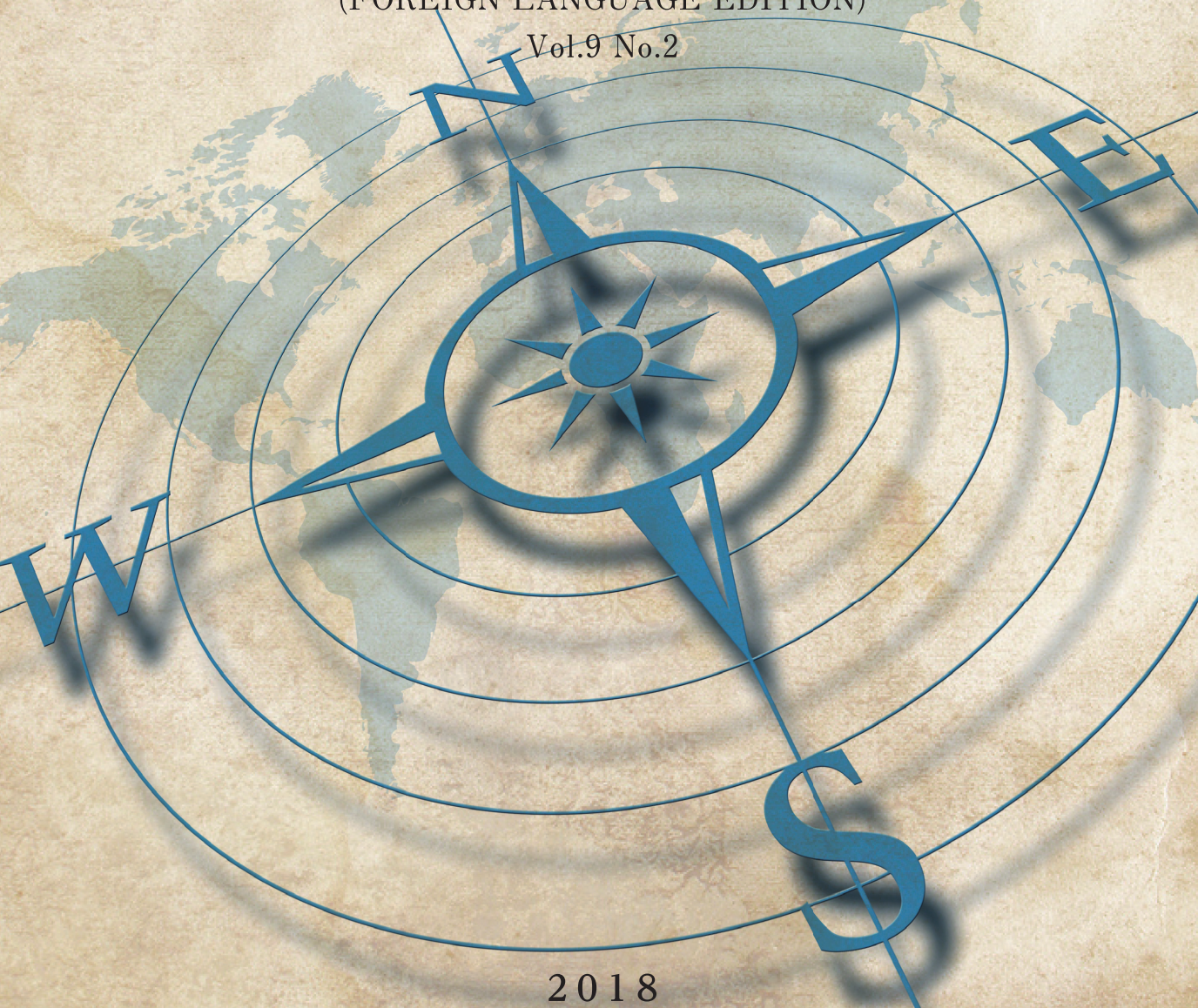


近畿大学教養・外国語教育センター紀要 (外国語編)

第9巻 第2号

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)

Vol.9 No.2



2018

近畿大学教養・外国語教育センター

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)
Vol. 9 No. 2

KINDAI UNIVERSITY CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION

近畿大学
教養・外国語教育センター紀要
(外国語編)

第9巻 第2号

2018

近畿大学教養・外国語教育センター

目次

■ 論文

セメスター留学が学習者の言語能力と意識に与える影響

—パイロットスタディ（英文） 森 節子 1

“The letter killeth”—『日陰者ジュード』における手紙についての一考察

高橋 路子 19

文化と構成主義—日本における学生中心の英語教育への新しい取り組み（英文）

ロバート・シェリダン／田中 キャサリン／コバヤシ・ジネマリー 33

ブルトンの視覚と再現の問題—1920年代の写真論と『ナジャ』 有馬 麻理亜 57

芦東山『無刑録』の写本五種に関する一考察—元老院刊本との比較から 原田 信 75

日本語母語話者による鼻音の音声処理について（英文） 森 直哉 97

日本語学習者の中間言語

—韓国人日本語学習者による統語的複合動詞の習得の観点から—

木戸 康人／團迫 雅彦／一瀬 陽子 117

■ 翻訳

『ヨハネの黙示録』の社会史的コンテクスト

—アデラ・ヤブロウ・コリンズの論文「ヨハネの黙示録」（前半）—

足達 賀代子 143

中国語と日本語におけるモダリティ要素共起の差異と共通性について

（附訳者解説） 原田 信／吉田 幸治 159

■ 各種報告

現代韓国語における連子音と連母音の回避現象

呉 永三 181

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)
Vol. 9 No. 2

CONTENTS

Articles

- Impact of a Semester Study Abroad Program on
Learners' Linguistic Competence and Beliefs: A Pilot Study MORI Setsuko 1
- “The letter killeth”: The Function and Significance of Letters
in *Jude the Obscure* TAKAHASHI Michiko 19
- Culture and Constructivism: A New Approach to Student-Centered
English Language Education in Japan
Robert SHERIDAN · Kathryn M. TANAKA · Jeanette M. KOBAYASHI 33
- Perception et représentation chez Breton dans les années 20 :
ses idées sur la photographie et *Nadja* ARIMA Maria 57
- A Study of the Five Manuscripts of *Mukeiroku*, Written by Ashi Tozan:
Comparison with Books Published by Genroin HARADA Makoto 75
- Research on the processing of nasal sounds by Japanese listeners MORI Naoya 97
- Interlanguage of Japanese Learners: From the Perspective of L2
Acquisition of Japanese Syntactic Compound Verbs by Korean-speaking
learners of Japanese
KIDO Yasuhito · DANSAKO Masahiko · ISSE Yoko 117

Translations

- The Social-historical Context of the Revelation of St. John the Divine:
The First Half of Adela Yarbro Collins's Essay, “The Book of Revelation”
ADACHI Kayoko 143
- On the Differences and Universality of Co-occurrence of Modality Elements
between Chinese and Japanese. HARADA Makoto · YOSHIDA Koji 159

Miscellanea

- Two Consonants and Vowels within a Sequence in Korean OH Youngsam 181

執筆者紹介（目次順）

森 節子	英語教育・応用言語学	法学部教授
高橋 路子	英文学	経営学部准教授
ロバート・シェリダン	言語教育における文化	農学部教授
田中 キャサリン	日本近現代文学	大手前大学総合文化学部講師
コバヤシ ジネマリー	英語教育	甲南大学国際文化センター 特任講師
有馬 麻理亜	フランス文学	経済学部准教授
原田 信	中国文学・文献学	経営学部准教授
吉田 幸治	英語学・言語学	経営学部教授
森 直哉	音声学・音韻論	経営学部非常勤講師
木戸 康人	心理言語学	経営学部非常勤講師
團迫 雅彦	言語学	九州大学大学院人文科学研究院 専門研究員
一瀬 陽子	第二言語習得	福岡大学人文学部英語学科教授
足達 賀代子	英文学	文芸学部非常勤講師
呉 永三	韓国語	経済学部非常勤講師

教養・外国語教育センター紀要（外国語編）の投稿・編集・発行等に関する細則

教養・外国語教育センター「近畿大学教養・外国語教育センター紀要（外国語編）」（以下「本紀要」という。）の投稿・編集・発行等に関して、次のとおり定める。

1 紀要発行

- (1) 広報出版委員会（以下「本委員会」という。）は、毎年度2回、本紀要を発行する。
- (2) 必要に応じ、本紀要の特集号、増刊号を編集し発行する。

2 原稿作成

- (1) 原稿作成は、各専門分野の慣例を尊重し、それに従うことを基本とする。
- (2) 原稿はワープロソフトで作成したものに限り、手書き原稿は認めない。
- (3) 原稿は、次の分量を目安とする。
 - ①研究論文 和文：20000字以内（注含め）
欧文：40000ストローク以内（注含め）
 - ②研究論文以外 和文：10000字程度（注含め）
欧文：20000ストローク以内（注含め）
- (4) 注及び引用・参考文献の記載については、原則として次のとおりとする。
 - ①注には算用数字で通し番号をつけ、本文の該当箇所に右肩付きの数字で示す。また注は文末注とする。
 - ②引用文献、参考文献は最後に、邦文文献は五十音順に、欧文文献は著者名のアルファベット順にして掲載する。邦文文献と欧文文献が混在する場合には、欧文文献を先にまとめて並べ、その後に邦文文献を記載する。

3 投稿原稿

- (1) 投稿原稿は、以下の種類と内容で、未発表のものに限る。
 - ①研究論文（原著論文でオリジナリティのある内容）
 - ②研究ノート（研究調査の手法や過程をまとめたものなど）
 - ③翻訳（原則として未翻訳の文献等の翻訳）
 - ④資料紹介・書評（新資料の紹介や書評など）
 - ⑤各種報告（授業実践報告、シンポジウム報告など）
- (2) 投稿者は、本学教養外国語担当専任教員、同専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員及び本委員会で投稿を認められた者とする。
- (3) 投稿原稿は、本委員会が指定する期限までに、指定の方式に従って提出しなければならない。
- (4) 原稿投稿に先立って、所定の手続きに従って執筆申込をしなければならない。

4 採否決定

(1) 本学教養外国語専任教員

- ①編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿の採否を審議する。
- ②編集委員会は、必要に応じ著者に対して原稿の訂正、修正、加筆等を求めたうえで、原稿の採否を決定する。
- ③採否を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

(2) 本学教養外国語専任教員の推薦を受けた本学非常勤教員

- ①編集委員会は、必要に応じ臨時委員を加えて、受理した投稿原稿を審査する。
- ②審査を通過した投稿原稿は、本紀要1号につき、5編まで掲載する。
- ③当該の号に掲載されない原稿は、次号回しとする。
- ④採否を決定した原稿の掲載順序は、編集委員会が定める。

5 著作権

本紀要に掲載された論文等の著作権は、近畿大学全学共通教育機構「教養・外国語教育センター」に帰属するものとする。

6 校正

- (1) 著者が行う校正は、原則として第2校までとする。
- (2) 校正の期間は、初校、2校とも1週間以内とする。期間に間に合わない場合は、原則として、その原稿は、次号回しとする。
- (3) 校正の段階での著しい訂正、修正、加筆等は禁止する。校正の段階で、大幅な訂正、修正、加筆等が必要になった場合は、その原稿は次号以降、再度、採否を審議、審査する。

7 公開・管理

- (1) 本委員会は、作成された紀要の電子ファイルを「近大リポジトリ」において公開する。
- (2) 他大学等から送付されてきた紀要類は、本委員会が管理する。

附 則

この細則の改正は、センター会議において行う。

この細則は、平成27年6月1日から施行する。

編集委員会

委員長	松村 博史	(文芸学部教授)
委員	ポール・ジョイス	(法学部准教授)
	山田 恭子	(法学部准教授)
	吉田 幸治	(経営学部教授)
	平田 美千子	(経営学部講師)
	原田 信	(経営学部准教授)
	菅井 康祐	(経済学部教授)
	有馬 麻理亜	(経済学部准教授)
	澤 泰人	(理工学部准教授)
	宮永 正治	(建築学部准教授)
	田中 博晃	(薬学部准教授)
	徳永 恭子	(文芸学部教授)
	中野 徹	(文芸学部准教授)
	ロバート・スワイヤー	(文芸学部講師)
	リチャード・デラ	(総合社会学部講師)
	赤羽 仁志	(農学部准教授)
	武知 薫子	(医学部講師)
	服部 圭子	(生物理工学部准教授)

近畿大学教養・外国語教育センター紀要 (外国語編)

第9巻 第2号 2018年

平成30年11月23日 印刷

平成30年11月30日 発行

発行人 戸井田 克己

発行所 近畿大学全学共通教育機構
教養・外国語教育センター

577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

印刷所 近畿大学 管理部 用度課 (出版印刷)

KINDAI UNIVERSITY
CENTER FOR LIBERAL ARTS
AND FOREIGN LANGUAGE EDUCATION JOURNAL
(FOREIGN LANGUAGE EDITION)

3-4-1 Kowakae, Higashiosaka-shi, 577-8502 Japan

ISSN 2432-454X



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY